



# 社協たより

—安心して暮らせる福祉のまちづくり—

2026

3

No.336

## 益城町社会福祉士連絡会



P2

益城町社会福祉士連絡会／在宅福祉課  
心配ごと相談員研修会／在宅福祉課

P3

歳末たすけあい見舞事業／地域福祉課  
高齢者の生きがいづくり／シルバー人材センター

P4

共同募金運動実績報告／在宅福祉課  
ボランティア活動保険・行事用保険／地域福祉課

P5

健康麻雀初級編講習会／地域福祉課  
社協情報／もの忘れ相談、心配ごと相談所など

P6

地域サロン／五楽しらゆり会、惣領4町内こがみサロン  
地域を支えるふくしの輪／町防災訓練

今月号の表紙は、  
益城町社会福祉士連絡会のメン  
バーです。この連絡会は、町内  
の事業所に所属する社会福祉士同士  
の情報交換や専門職としての資質向上  
をはじめ、地域住民の安心安全な暮  
らしと課題解決に向けた体制づく  
りを目的に開催しています。

社会福祉法人  
益城町社会福祉協議会

# 益城町社会福祉士連絡会

在宅福祉課

## 認知症支援の連携を深める

1月22日（木）保健福祉センター  
はびねすで、第15回の連絡会を開催  
し21名が参加しました。

今回は、「認知症状がある方への初期介入について」をテーマに、町の各認知症事業に携わっている同連絡会メンバーの説明により、各事業内容（町の認知症施策、認知症ネットワーク会議、認知症地域支援推進員、認知症疾患医療センター、認知症初期集中支援チーム、認知症伴走型支援員）について学びました。

その後、グループワークでは、テ



実際に事業を担当しているメンバーからの説明

マに沿って、認知症状がある方に携わった場合の対応や繋ぎ先などについて意見交換し、「認知症なのか？人の特性なのか？他の病気が隠れているのか？慎重な見極めが必要であり、各事業担当者間でも情報共有しながら支援の方向性を決めて対応している」との意見が出ました。

今後本連絡会では、多分野交流の中で、地域住民の安心安全な暮らしと課題解決に向けた体制づくりに取り組み、連携を深めていきます。



町内社会福祉士の連携を深め、より誰もが住み良い町へ

# 心配ごと相談員研修会

在宅福祉課

## 安心感を生む対話の作法とは？

1月29日（木）、保健福祉センター  
はびねすにて開催しました。講師に  
司法書士の松尾英美氏を迎え、「心に  
寄り添う『傾聴の力』」安心感を生  
む対話の作法」をテーマに研修を  
行いました。

講義では、相談員として最も大切な姿勢は、相談者への「尊敬」と「承認」であると学びました。解決を急ぐのではなく、まず相手の話を否定せずに「受け入れる」ことが、相談者の安心感や「少し元気になる」ことにつながります。

演習では、マスク越しでも伝わる笑顔の作り方や、相づちの有無で話しやすさがどう変わるかを体験するワークも実施しました。

今後も相談員一同、相談者の心に寄り添い、安心して話していただける場づくりに努めてまいります。悩みごとがあれば、一人で抱えず、お気軽に「心配ごと相談所」にご相談ください。

◆相談所開設日時については、5ページの社協情報をご覧ください。



講師の司法書士 松尾英美氏  
心配ごと相談所専門相談員としてもご活躍されています



マスク笑顔は頬をグッと引き上げて！

# 歳末たすけあい見舞事業 地域福祉課

## 「顔が見える安心」地域をつなぐ温かな見守り

歳末たすけあい募金を財源に、昨年地域で馴染みのある民生児童委員から、見守り活動を兼ねて支援を必要としている世帯に対して見舞品を配布し訪問活動が行われました。

民生児童委員が玄関のインターホンを押すと、住民さんが笑顔で扉を開けられ、お互いに笑顔で話をされ、近況報告をされていました。

訪問先の住民さんからは「民生児童委員さんが来てくれると安心するので、話を聞いてもらえるので、頼り



写真左から正代民生児童委員と住民の今村さん



民生児童委員さんへの見舞品事前配布



写真右から西島民生児童委員と住民の森川さん

# 高齢者の生きがいづくり

お客様の声

矢田タヤ子さん（宮園）

シルバー人材センター

息子の友人がシルバー人材センターの会員で、地域の役員もされているというご縁から、震災前まで住んでいた愛着ある土地の草刈りについて相談に乗っていただきました。会員さんは快くセンターへの作業依頼の申し込みまで引き受けてくださり、草刈り班の皆さんに作業をお願いすることになりました。

作業が終わった土地を見て、その仕上がりの美しさに大変驚きました。単に草を刈るだけでなく、敷地の隅々まで丁寧に草を刈っていただき、心がついてきました。

また草が生い茂る夏頃に、ぜひお願いしたいと思っています。

今回の草刈り作業後の土地を見て、会員の皆さんの人の温かさを感じることができました。



満面の笑みでお話いただいた矢田さん



皆様からの温かいお言葉が大きな励みになります！



# 共同募金運動実績報告

在宅福祉課

令和7年度の共募募金にあたり、町民の皆様よりあたたかいご寄付をいただき、心より感謝お礼申し上げます。

今年度の実績についてご報告いたします。皆様からお寄せいただきました募金は全額を熊本県共同募金会へ送金

し、令和8年度の益城町の地域福祉活動を推進するために大切に活用させていただきます。多大なるご協力、誠にありがとうございました。

## 法人募金協力企業紹介（追加分）

(株)丸菱ホールディングス、(株)西田電工

### 赤い羽根共同募金

種別	金額
戸別募金	3,274,300円
法人募金	659,000円
職域募金	164,868円
ワッペン募金	69,414円
その他募金	430,798円
小計	4,598,380円

### 歳末たすけあい募金

種別	金額
戸別募金	2,217,172円
竹筒募金	223,546円
その他募金	1円
小計	2,440,719円

合計	7,039,099円
----	------------

## ボランティア活動保険・行事用保険 地域福祉課

ボランティア活動中の「もしも」の事故やケガに備える保険のご案内です。2種類の保険があります。

### 【① ボランティア活動保険】

対象：日本国内で行う、自発的で無償の活動  
 内容：活動中の自身のケガや、他者への賠償責任を補償  
 期間：令和8年4月1日～令和9年3月31日  
 （途中加入でも期間は同じです）

補償プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	
補償内容				
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円（限度額）		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
	地震・噴火・津波による死傷	×	○	
賠償責任の補償	賠償責任保険金（対人・対物共通）	5億円（限度額）		
年間保険料		350円	500円	

### 【② ボランティア行事用保険】

対象：地域福祉やボランティアの一環として行う行事  
 ※最低20名分の保険料が必要です。  
 プランにより名簿の提出が必要です。

補償内容		1名あたり（1名）	A1 28円	A2 126円	A3 248円	
ケガの補償	参加者本人のケガ	死亡保険金	400万円			
		後遺障害保険金	400万円			
		入院保険金日額	3,500円			
		手術保険金	入院中の手術	35,000円		
			外来の手術	17,500円		
	通院保険金日額	2,200円				
賠償責任の補償		対人事故	2億円			
		対物事故	1,000万円			

## 【申込・お問い合わせ】 地域福祉課 ☎ 096-214-5566

・当協議会事務所で書類記入と保険料のお支払いをお願いします。  
 ※団体加入の場合は、名簿をご持参ください。

# 健康麻雀初級編講習会

地域福祉課

## 人と地域とつながる新たな輪

「賭けない・飲まない」を合言葉に、健康・仲間・生きがいづくりを目的に、令和7年8月から健康麻雀初級編講習会を約半年間にわたり全18回開催しました。

49歳から83歳までの12名が参加。最初は複雑な用語やルールに苦戦しながらも、互いに励まし合いながら練習を重ねました。会場は常に笑顔と笑い声があふれ、和やかな雰囲気となりました。



修了仲間と満面の笑みで記念写真

講師は、益城町在住で日本健康麻雀協会認定レッスンプロの坂井茂先生。「指先を使い、会話を楽しむ健康麻雀は、脳の活性化や認知症予防に最適。この教室が健康増進と仲間づくりのきっかけになれば」と熱く指導にあたられました。

全過程を終えた後も、参加者からは「これからも集まって続けたい」との声が上がり、地域に新しいコミュニティの輪が広がっています。



先生の助言のもと、仲間と楽しく実践！

# 社協情報

## ◇もの忘れ相談室

認知症の悩みや不安解決を一緒に考え、医療機関や介護サービス等、必要な機関にご紹介する相談室を開設しています。

相談日 / 3月17日(火)

- ① 13時30分から
- ② 14時30分から
- ③ 15時30分から

場所 / 役場1階相談室D

※事前予約制です。

問 / 地域福祉課

☎ 096-214-5566

## ◇第17回火の国ボラフェス

(11月7日(土)開催)

キッズフリース募集

期間 / 2月2日(月) ~ 3月31日(火)

応募資格 / 上益城郡内・熊本市在住の方

応募方法 / 左記QRコード読み込み

選考方法 / 実行委員会により選考決定

表彰 / 最優秀賞1作品、優秀賞10作品

◎選考された方は大会において表彰いたします。



応募用QRコード

問 / 地域福祉課

☎ 096-214-5566

## ◇心配ごと相談

日常生活のちょっとした心配ごとから、土地や相続などの法律に関することまで相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

※予約不要(相談対応中の場合はお待ちいただくことがありますので、あらかじめご了承ください)  
日時 / 毎週水曜日  
10時から12時、13時から15時

場所 / 役場1階相談室D

住所 (益城町宮園702)

※相談員は左記の表をご覧ください。

問 / 在宅福祉課

☎ 096-214-5566

※相談員は変更になる場合もあります。

日程	専門相談員	相談員	
3月4日(水)	松尾 一 (行政相談委員)		富田幸子 (民生児童委員)
3月11日(水)	松尾英美 (司法書士)	光永明裕 (人権擁護委員)	有馬陽子 (民生児童委員)
3月18日(水)	松尾 一 (行政書士)	堀内敦子 (人権擁護委員)	米岡文子 (民生児童委員)
3月25日(水)	松尾英美 (司法書士)		内山美佐子 (民生児童委員)
4月1日(水)	松尾 一 (行政書士)		長谷川亜紀 (民生児童委員)

～つながる地域・住みよいまち～

# 地域サロン

町内の各地域サロンでは、高齢者をはじめ、地域の人々が楽しく集える場づくりが盛んに行われています。また、介護予防や閉じこもり防止、見守り、仲間づくり、社会参加を目的とした活動にも取り組んでいます。

## 五楽しらゆり会



参加歓迎！いっしょに楽しい時間を過ごしましょう！

平成19年6月から始めました。毎月15名程が集まり、リサイクル活動や子どもたちとのラジオ体操など、多種多様な活動をされています。

開催日／毎月第2月曜日  
時間／13時30分から  
場所／五楽公民館



晴天のもと皆で楽しく活動

## 惣領4町内こがみサロン



男女問わず、ご参加お待ちしております！

毎月15名程で平成18年6月から活動されています。ハーモニカ演奏を楽しんだり、介護予防講話で健康増進に務めたりなど充実した活動を続けられています。

開催日／毎月第2金曜日  
時間／13時30分から  
場所／惣領4町内公民館



懐かしい演奏に聴き入ります

## 地域を支えるふくしの輪

### 益城町総合防災訓練に参加しました

1月31日(土)当日は、熊本地震の際に多くの皆様にご協力いただいた「災害ボランティアセンター」の様子を写真で展示し、災害時における「共助(共に助け合うこと)」の大切さを、改めてお伝えさせていただきました。

あわせて、日本赤十字社益城町分区として、災害時の日赤活動を紹介するパネル展も行いました。

また、会場では缶バッジ作りなど、誰もが楽しみながら参加できるコーナーも設けました。お立ちよりいただいた皆様、ありがとうございました。

「誰もが安心して暮らせるまちづくりを支えている活動を紹介します」



赤十字缶バッジ作り体験



日赤マスコット「ハートラちゃん」との記念撮影

2026

3

No.336

発行 / 社会福祉法人 益城町社会福祉協議会 会長 西村 博則

〒861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領1470  
益城町保健福祉センター「はびねす」内  
TEL/096-214-5566 FAX/096-214-5567  
ホームページ <https://www.mashiki-shakyo.or.jp/>

